

## 平成21年度ユニバーサルデザイン(UD)教育の取組

1 学校名	唐津市立大志小学校		
2 所在地	唐津市西城内 4 番 43 号		
3 校長名	上田 守		
4 学級数 児童生徒数	15 学級 446 人	5 実施学年 児童生徒数	3 年 78 人
<p>6 取組のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 私たちの生活がたくさんの人によって支えられていることを知り感謝すること。</li> <li>○ 身の回りの人に気を配り、みんなが住みよい環境を考えること。</li> </ul> <p>7 取組の実際</p> <p>(1) 人にやさしい町作りを考える</p> <p>町探検</p> <p>町探検では「みんなにやさしい町・人」という視点を持って校区内を見て回り、私たちが住みやすいように、たくさんの工夫があることに気づいた。</p> <p>目的別町探検</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;">  </div> <div style="flex: 2;"> <p>町探検により各自が何についてもっと調べたいかを確認し、目的別に班分けを行った。そして、書籍やインターネットで詳しく調べた後に、目的別町探検(観察・インタビュー)をすることで、疑問を解決し、理解を深めることができた。</p> <p>班の例(点字・点字ブロック班、町の電灯班、スロープ・エレベーター班、音の鳴る信号機班など)</p> <p>調べたことの発表会</p> <p>班で調べたことをまとめ、学年での発表会を行った。司会を立て、何を伝えたいか分かるように、話す内容別に分担を決めて発表した。それにより学年全体で情報の共有ができた。</p> </div> </div> <p>(2) ユニバーサルデザインの考え方を知る</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;">  </div> <div style="flex: 2;"> <p>唐津市まちなかUD事務所を通して、講師の方を紹介していただいた。ユニバーサルデザインとはどういうものなのかを分かりやすく説明してもらい、基本的な考え方を知ることができた。また、ユニバーサルデザインを採用した食器や文具を使うことで関心が深まった。</p> </div> </div>			

### (3) 障害がある方への理解を深める

#### 福祉体験講座の実施



唐津市社会福祉協議会の方に福祉体験講座をお願いした。車椅子試乗体験、アイマスク歩行体験、高齢者疑似体験を通して実際に不便に感じておられるところや、私たちが手助けできることなどを考えることができた。

そして体験発表会を行い、意見交流をした。

#### 点字教室の実施

点字を読んだり、点字版を使って点字を打ったりするなど点字について学習し、目が見えない人とそれに関わる人のことを考えることができた。

盲導犬を連れておられる方の話を聞く

盲導犬を連れておられる方の話を聞くことにより、盲導犬についての理解を深め、どのように接していけば良いかを考える。

### (4) 身の回りのユニバーサルデザインを考える

#### 大志小学校とその周辺の観察

今まで学習したことをもとに、再び学校とその周辺を観察し、みんなが住みやすい町作りを具体的に考える。

#### ユニバーサルデザイン発表会

班を作り、みんなが住みやすい町を作るという思いを持って、それぞれが考えた町作りについて話し合い、より良いものにまとめ、発表する。

## 8 取組の成果と課題

- みんなにやさしい町作りを考えることで、自分たちが見えないところでたくさんの人に支えられていることを感じる子が増えた。
- ユニバーサルデザインの考え方を理解し、困っている人の気持ちになって考えることができる子が増えた。
- 体験活動や考える活動を取り入れるために、教師がどのような場を設定するかが重要になる。また、それを実施するために、保護者や地域との連携を密にすることが必要である。